

科目コード	13101		区分	教養			実務経験のある教員等による授業科目		
授業科目名	日本国憲法		担当者名	宮園 司史			○		
配当年次	1	配当学期	後期	単位数	2	授業方法	講義	卒業要件	選択

<授業の概要>

現行の憲法制定後、我が国をめぐる環境は国内外ともに大きく変化した。このような時代の中で、我が国の政治、行政、外交等の骨格をなし、また、日々の国民生活にも直接的に影響を有する「憲法」の意義・重要性について、改めて学び直すことを通じて、これからの我が国の在り方や進むべき方向性等について、ともに考えていくこととしたい。

<授業の到達目標>

現行の憲法では、すべての公務員が憲法を尊重し、擁護する義務を定めているが、まず、その意味を十分に理解する必要がある。次に、人権および国の統治機構の項目のうち、重要なものについて、テキストを併用しながら、基礎的な知識の習得を目指すこととする。

<授業の方法>

オンデマンド方式で授業を行う。具体的には、教科書の内容に沿って、様々な設問を取り入れつつ、Q&A方式で作成した動画を教材として配信し、授業を進めることとする。また、毎回の授業に関して出題する課題への回答・提出を求める。

<成績評価方法>※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

①成績評価については、授業内容の理解度60%、授業参加の積極度40%で評価する。Yn②授業内容の理解度については、毎回の課題の回答内容の採点結果をもとに評価する。Yn③授業参加の積極度については、課題の提出状況をもとに評価する。Yn④規定以上の欠席回数がある場合や受講態度に問題が多い場合には、単位を認めないので、注意すること。

<教科書>

東裕
憲法学事始（第2版）
一学舎

<参考書>

なし

<授業計画>

回	テーマ	授業内容
1	ガイダンス	講義の目的や進め方、評価方法等の説明
2	憲法の意義等	憲法制定の経緯、憲法の必要性等
3	国民主権と平和主義	憲法の基本原理、天皇の地位等
4	包括的基本権と法の下での平等	包括的基本権、法の下での平等の意義等
5	精神的自由権Ⅰ	思想・良心の自由、信教の自由、学問の自由等
6	精神的自由権Ⅱ	表現の自由をめぐる諸問題
7	経済的自由権	職業選択の自由、居住・移転の自由、財産権等
8	身体的自由権	人身の自由、刑事被告人・被疑者の権利保障等
9	参政権・国務請求権	参政権、裁判を受ける権利等
10	社会権	生存権、教育を受ける権利、労働基本権等
11	国会	国会の地位、組織、権能等
12	内閣	内閣の組織、権限等
13	裁判所	司法権、裁判所の組織・権能等
14	総括Ⅰ	第2回～第7回の授業の振り返り等
15	総括Ⅱ	第8回～第13回の授業の振り返り等

科目コード	13100		区分	教養科目			実務経験のある教員等による授業科目		
授業科目名	フレッシュマンセミナー		担当者名	常浦 光希／後藤 由佳／高橋 純一／浅田 栄里子／本村 大輔 ／小玉 京士朗／酒井 健太郎／ 仙波 慎平			○		
配当年次	1	配当学期	前期	単位数	2	授業方法	講義	卒業要件	必修

<授業の概要>

大学4年間の学生生活は、その後の人生に大きな影響を与える。この4年間でどのように生きるか、大学生活をどのように過ごすかを考え、学生一人ひとりが責任をもって、社会人として成長するための助言指導をおこなう。本授業では、社会で求められる社会人基礎力をもとに、大学生としての基礎・基本を身に付けることを目指し、主体的に学習に取り組むことのできる態度を養成していく。基本的に講話形式で展開する。基礎ゼミナールと連動しながら、IPU生として求められる資質・態度を考え、実践することで、自分に自信を持ち、妥協しない進路選びの土台を作る。

<授業の到達目標>

本授業では、非認知能力及び認知能力の獲得のために、本学学生に求められる基礎・基本となる力を養い、2年次キャリアディベロップメントにおいて自身の適切な進路決定をするための土台づくりが目的である。毎時の講話を通して、①読解力や傾聴力、書く力を身に付ける。②スピーチする力を身に付ける。③学生生活や学習習慣などの自己管理・時間管理能力を身につける。④大学生として求められる基礎学力の獲得と定着。以上の点から主体的・能動的に学び続ける学生としての資質・能力を育成することを目標とする。

<授業の方法>

1. 講義（メンターやゲストスピーカー等による講話）
2. グループワーク
3. 省察活動（質疑・まとめ・感想発表）

<成績評価方法>※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

授業態度（身だしなみ・ディスカッションや演習への取り組み態度等）30%、小課題① 50%（レポート・基礎学力課題）、課題②（発表等）20%

<教科書>

吉原 恵子（著）、間瀬 泰尚（著）、富江 英俊（著）、小針 誠（著）（2017/10/10）
スタディスキルズ・トレーニング 改訂版：大学で学ぶための25のスキル
実教出版

<参考書>

特になし

<授業計画>

回	テーマ	授業内容
1	IPU生になる基礎基本①（挨拶・態度等）副学長講話	本授業の目的・意義・建学の理念を理解する。
2	自己理解①	現時点の社会人基礎力を把握する
3	建学の精神①学長講話	大学の教育方針・伝える力について考える
4	ビブリオバトル予選①	ビブリオバトルを予選を行う
5	ビブリオバトル予選②	ビブリオバトルを予選を行う
6	建学の精神②副学長講話	基礎学力の必要性について考える
7	自己理解②	社会人基礎力の変化について考える
8	前期まとめ（基礎学力試験）	大学生活について考える①
9	スピーチスキルアップ講座	スピーチ力を向上させる
10	スピーチコンテスト予選①	スピーチコンテスト予選を行う
11	スピーチコンテスト予選②	スピーチコンテストの予選を行う
12	建学の精神③学長講話	非認知能力について考える
13	スピーチコンテスト代表者予選	各組の代表者スピーチを聞き評価を行う
14	自己理解③	1年間の振り返りと2年生に向けた課題設定を行う
15	2年生に向けて（文章力検定）	大学生活を振り返る②¥n1年間の振り返りを行う、かつ、文章力検定の実施

科目コード	13200	区分	教養			実務経験のある教員等による授業科目			
授業科目名	キャリアディベロップメント	担当者名	高橋 純一／常浦 光希／後藤 由佳／浅田 栄里子／倉田 知秋 ／梶谷 亮輔／高橋 章二			○			
配当年次	2	配当学期	前期	単位数	2	授業方法	演習	卒業要件	必修

<授業の概要>

「働くこと」は、生活の安定や社会貢献など、豊かで人間らしい生活を送る上で大変重要な意義をもつ。本授業では、社会人として社会の中でどう生きていくのかを考えながら、求められるスキルについて分析し、そのスキルを身につけていく。さらに、共に設定したテーマや課題に対して、仲間と共にチームで協力・協働することを通して、社会人基礎力となる主体性・コミュニケーション力・応用力の育成を目指す。またデジタルツールを使用し、その工夫した活用に努める。そして、専門職・企業人・およびゲストスピーカーによる「働くこと」の意味、仕事の適正、求められる能力などの講話を受けることによって、社会人として必要な実践力を向上させていく。

<授業の到達目標>

1. 自己の資質・能力を把握したり、職業適性を理解したりして、職業選択の見通しをもつことができる。
2. 毎回の演習や講話に主体的に参加し、テーマについての学びと自己の考えについて適切かつ確に言語化したり、デジタルツールを活用し、意見交換ができる。
3. 実践の場を通して、社会人として必要な実践力を向上させる。

<授業の方法>

1. 講義（ゲストスピーカー等による講話）
2. グループワーク、グループディスカッション、プレゼンテーション発表
3. 省察活動（質疑・まとめ・感想発表）
3. 課題（基礎学力教材に取り組む）

<成績評価方法>※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

講義への取り組み姿勢と受講態度、受講意欲 30%
レポート課題 50%
基礎学力課題 20%
必ず、授業時間と準備学習で課題に取り組み、期日までに発表・提出をすること。

<教科書>

特に指定しない

<参考書>

吉原恵子他
スタディスキルズ・トレーニング
実務出版

<授業計画>

回	テーマ	授業内容
1	2年生におけるキャリアにおける学びのデザイン キャリア形成に向けた自己分析①	・初年次部長講話 ・授業の内容の理解 ・自身のキャリアについて考える。
2	IPU2年生としての心構え	・建学の精神について講話を聴いて深める。
3	プレゼンスキルアップ講座	・ゲストを招いて「プレゼンテーション講座」を実施する。
4	プレゼンコンテスト予選	・各会場に分かれてプレゼンコンテストを実施する。 ・自身のキャリアについて考えたプレゼンテーションを行う。
5	学長講話	・学長講話「キャリアについて」
6	プレゼンコンテスト代表者予選	・プレゼンコンテスト代表者予選を実施する。 ・自身のキャリアについて考えたプレゼンテーションを行う。
7	キャリア形成に向けた自己分析②	・自身のキャリアについて考える。
8	基礎学力試験	・基礎学力の定着度を図る。
9	キャリア①	・キャリアについてのガイダンス
10	キャリア②	・在学生を迎えて就活への道筋に関する講話
11	キャリア③	・卒業生を迎えて就活への道筋に関する講話
12	キャリア④	・三志会から就活への道筋に関する講話
13	キャリア⑤	・外部講師を迎えて就活への道筋に関する講話
14	キャリア形成に向けた自己分析③	・自身のキャリアについて考える。
15	基礎学力試験②	・1年間の総まとめ

科目コード	14002	区分	教養			実務経験のある教員等による授業科目			
授業科目名	キャリアデザイン I [企業]	担当者名	佐藤 典子/齊藤 慎弥/濱嶋 幸司/小崎 遼介/浦 佑大			○			
配当年次	3	配当学期	前期	単位数	1	授業方法	講義	卒業要件	必修

<授業の概要>

「折れない、やめないIPU生」の育成をしつつ就職支援も強力に推し進めるために、キャリアデザインIでは、具体的な就活能力向上につながる授業とする。

<授業の到達目標>

自己分析、経験の棚卸が出来るようになり、将来のキャリアをデザインする力が付くようになる。

<授業の方法>

アカデミックな内容に加え、実用的なノウハウも学ぶ。外部講師を招聘しての講義や、ペアワークなどを通してアクティブに学ぶ。履修者は例年300名近いので、2つの教室に分けてAとBの45分授業を2回実施する。

<成績評価方法>※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

参加意欲・態度 60%、提出物 40%、フィードバックについてはグループクラスルーム上で各自へ伝える。

<教科書>

山崎京子、平林正樹 2019年
未来を拓くキャリア・デザイン講座
中央経済社

<参考書>

特に指定しない

<授業計画>

回	テーマ	授業内容
1	A. ガイダンス B. 行動のスイッチを入れよう	前期の授業内容の紹介ならびに、キャリア支援や就活基礎知識についてキャリアセンターよりお知らせがあり、外部講師による具体的な行動に結びつく講義を聞く。
2	A. キャリアとは B. インターンシップについて	自身の過去を内省し内的キャリアについて考える。インターンシップについての説明を聞く。
3	A. 自己理解① B. 自己分析ワーク①	テキスト第2章 他者評価を含めた自己分析の手法を学ぶ。自己分析ツールの活用。
4	A. 自己理解② B. 自己分析ワーク②	テキスト第2章 自分のキャリアアンカーを探し未来を意識する。マッチプラスを実施する。
5	A. 企業理解 B. 企業情報の見方	テキスト第4章 企業研究の手法などを学ぶ。四季報、就職サイトの活用方法を学ぶ。
6	A. 新卒労働市場 B. 情報収集の方法について	テキスト第5章 グローバル化・技術革新・少子高齢化に伴う労働市場の変化を理解する。学内外での情報の取り方について知る。
7	A. B. 経営者から学ぶ	企業の経営層によるパネルディスカッションを通して、業界研究や企業研究に繋げる。
8	A. 人間関係とコミュニケーション B. 企業とのコミュニケーション	テキスト第3章 アサーティブネスについて理解を深め、スキルを学ぶ。インターンシップ参加にあたってマナーを知る。
9	A. B. 企業経営者による講演	映像制作会社の社長の講演からキャリア形成と社長業の面白さを知る
10	A. 働き方理解 B. OB/OGに聞く成功失敗談	テキスト第5章 ブラック企業・働き方改革について理解を深める。今の仕事について就活時に実行してよかったこと、後悔していることを聞く。
11	A. キャリアの理論 B. ガクチカ、自己PR作成	テキスト第8章 トランジションモデルをベースに初期キャリア形成、プロテジャンキャリアをベースにキャリアの自走について考える。ガクチカ、自己PR作成方法を知る。
12	A. マネープランについて B. 筆記試験、適性検査対策	将来を見据えたマネープランを考える。筆記試験や適性検査について理解をする。
13	A. グループディスカッション対策 B. 面接対策	グループディスカッションの基礎と対策を学ぶ。面接の基本について知る。
14	A. B. 卒業生に聞く「これからどう動くか」	社会に出ること、学生時代にやっておきたかったことや今後のキャリアプランについて聞く。
15	A. 夏休みの目標設定をするためにSMART目標について学ぶ B. 前期キャリアデザイン総括	振り返りと夏休みの目標設定。提出物やインターンシップ申し込みの確認、授業評価など

科目コード	14002	区分	教養科目	実務経験のある教員等による授業科目					
授業科目名	キャリアデザイン I [教職]	担当者名	練 苧 千之/坂根 清貴/奥山 優/安井 正郎/千葉 照久/大崎 卓己/延原 まどか/林 栄昭/岩田 清隆/中野 隆重	○					
配当年次	3	配当学期	前期	単位数	1	授業方法	講義	卒業要件	必修

<授業の概要>

キャリアデザイン I は子ども発達学科、教育経営学科、体育学科に在籍している教員を志望する学生が対象である。教員としての働くことの意義や自己理解を深めるなかで、必要な資質や能力を養い、将来の生き方について考えさせるとともに、教員採用試験合格を目指して、必要な取り組みについて指導をおこなう。学習成果については、論理的思考力、表現力、協働性、教職への熱意などについて評価する。

<授業の到達目標>

1 教員を選択した意思を明確にし、その職に進むために必要な資質や能力を高めることができる。 2 自己理解を深め、将来の生き方について考えることができる。 3 教員採用試験合格を目指して、必要な取組を理解し、日常の実践に生かすことができる。

<授業の方法>

- ・ 講話を通して、課題の提示や説明を行う。
- ・ 課題についてグループディスカッションを行う。
- ・ 課題についての演習を行う。
- ・ レポートの提出。

<成績評価方法>※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

学習意欲 20%、 受講態度 20%、 講義内での課題等 20%、 最終レポート 40%

<教科書>

特に指定しない

<参考書>

特に指定しない

<授業計画>

回	テーマ	授業内容
1	オリエンテーション ¥n学校支援ボランティア	本講座の目的・意義・概要 ¥n教員を志望する理由 ¥n学校支援ボランティアの意義
2	立ち居振る舞い ¥n教員採用試験の概要¥n進路調査	社会人になるための五つの基本 ¥n教員になるための心構え ¥n進路調査
3	学長講話	教師としてのやりがい
4	授業の基礎・基本	授業と板書 ¥n板書の文字（チョークを持って書く）
5	教育現場の課題①「学力の向上」	学力向上への方策 ¥n *講話・グループディスカッション
6	講話「生徒指導提要の理解」	現場の実態を踏まえた、児童生徒への接し方
7	教育現場の課題②「いじめ問題の解決」	いじめ問題の現状と課題 ¥n *講話・グループディスカッション
8	教育現場の課題③「不登校の解消」	不登校の現状と解消への方策 ¥n *講話・グループディスカッション
9	教育現場の課題④「特別支援教育の充実」	特別支援教育の現状と課題 ¥n *講話・グループディスカッション
10	教育現場の課題⑤「家庭・地域との連携」	家庭・地域との連携と必要性 ¥n *講話・グループディスカッション
11	講話「現場が求める人材」	学校現場の現状と期待される人材
12	キャリア演習「荘内中学校生徒との交流」	玉野市立荘内中学校生徒との交流 ¥n・進路選択について経験談 ¥n・どんな先生を求めているか
13	教師に求められる資質や能力①「信頼される教師」	信頼される教師としての資質 ¥n *講話・グループディスカッション
14	教師に求められる資質や能力②「授業力の向上」	授業力向上のための取り組み ¥n *講話・グループディスカッション
15	教師になるための取組の成果と課題	教師になるために努力していること ¥n後期に向けての課題 ¥n夏季休業中の過ごし方 ¥nレポート試験

科目コード	14002		区分	教養科目			実務経験のある教員等による授業科目		
授業科目名	キャリアデザイン I [公務員]		担当者名	大井 理緒/森 利治			○		
配当年次	3	配当学期	前期	単位数	1	授業方法	講義	卒業要件	必修

<授業の概要>

このキャリアデザイン I (公務員) は体育学科、教育経営学科、こども発達学科、現代経営学科に在籍している公務員就職を希望する学生対象の講義である。このクラスでは公務員就職を希望し、公僕として働くことの意義を実際に各種公務員として働くためにどんな職種の公務員があるのか、それはどのような業務をするのかを知ることになりたい職種を絞っていきます。そのためには公務員試験とはどのようなものか、どんな試験内容で構成されているのか、教養試験、適性試験、論文試験、面接試験などについて解説していく。以上のことを学んでいく中で本当に公務員試験に取り組む姿勢を養い、後期から始まる試験勉強に向けて覚悟を決めさせていく。

<授業の到達目標>

1. 公務員就職について職種や試験の知識を学び、将来目指すべき職種を見つける。
2. 自己理解を深め、将来の自分の方向性について考える。

<授業の方法>

講義、講演会、グループワーク（模擬面接、集団討論）等の形式で実施する。

<成績評価方法>※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

単元別レポート70%、授業に取り組む姿勢30%

<教科書>

特に指定しない

<参考書>

特に指定しない

<授業計画>

回	テーマ	授業内容
1	オリエンテーション	本科目の目的・意義・概要、スーツ着用にあたっての再確認事項、公務員を志望する理由、立志会の説明
2	公務員試験の概要 (1)	公務員試験の種類
3	公務員試験の概要 (2)	公務員の職種について① (公安職)
4	公務員試験の概要 (3)	公務員試験の職種について② (公安職)
5	公務員試験の概要 (4)	公務員試験の職種③ (行政職)
6	公務員試験の概要 (5)	公務員試験の募集要項の見方と、願書の作成体験
7	公務員試験の概要 (6)	各種公務員試験の出題内容と実際の問題を見てみよう
8	講話「現場が求める人材」	大都市圏の警察官の仕事について
9	公務員試験の概要 (7)	体力検査、各種適性検査について
10	公務員試験の概要 (8)	各種試験の論文課題について
11	公務員試験の概要 (9)	論文を実際に書いてみる
12	立志会の入会説明	全体のカリキュラムの概要、活動内容の説明、費用についての説明、4年生の先輩からの話
13	公務員試験の概要 (10)	面接試験について (自分についての棚卸)
14	公務員試験の概要 (11)	面接試験について (自己分析)
15	公務員試験の概要 (12)	面接試験について (自己PR)

科目コード	14002	区分	教養科目			実務経験のある教員等による授業科目			
授業科目名	キャリアデザイン I [健康科 学科用]	担当者名	宮本 彩			○			
配当年次	3	配当学期	前期	単位数	1	授業方法	講義	卒業要件	必修

<授業の概要>

卒業後の進路を実りあるものにするためには、計画的にキャリアプランを立て、早期から準備に取り組む必要がある。進路別就職活動のスケジュールを理解するとともに、実際の現場で求められている柔道整復師のスキルやモラルを理解し、身に付けることを学修成果として求めます。

<授業の到達目標>

柔道整復師に求められる職業倫理及び、社会保障制度について学び、柔道整復師の役割を理解し、自身の目指すべき方向性を明確にする。柔道整復師の職務と誇りを育むとともに、ビジネスマナー、自己分析力、業界に対する知識を身に付ける。

<授業の方法>

必要に応じて、ゲストスピーカーをお招きして講義を進める（オンライン形式も含む）。資料の配布等はGoogle Classroomを活用する。

<成績評価方法>※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

授業意欲・態度：20%授業中の意見交換：30%授業課題・レポート提出：50%

<教科書>

なし

<参考書>

なし

<授業計画>

回	テーマ	授業内容
1	ガイダンス	授業の目的、進め方についての説明就職先に関するアンケート
2	職業倫理①	業界調査（地域医療に貢献する柔道整復師の実態）
3	職業倫理②	業界調査②（効果のある施術を探る）
4	職業倫理③	OB・OG講話 柔道整復師の業務とその実際
5	職業倫理④	企業講話 柔道整復師が果たすべき役割
6	自己分析①	自己PRの仕方① 自分の強みを考える
7	自己分析②	自己PRの仕方② 自分の強みを伝える
8	自己分析③	自己PRの仕方③ 名刺の役割および作成
9	自己分析④	志望動機を考える
10	就職活動の実践①	履歴書・エントリーシートの書き方
11	就職活動の実践②	履歴書・エントリーシートの相互指導（添削）
12	就職活動の実践③	面接（オンライン及び対面）の対応
13	就職セミナー①	企業数社が集まる就職セミナーに参加し、複数の企業の説明を聞く。
14	就職セミナー②	企業数社が集まる就職セミナーに参加し、複数の企業との面談を体験する。
15	前期まとめ	柔道整復術の短期的視点・長期的視点夏季休暇中の企業見学について

科目コード	14002	区分	教養科目			実務経験のある教員等による授業科目			
授業科目名	キャリアデザイン I [BC留学 生用]	担当者名	大平 真紀子			○			
配当年次	3	配当学期	前期	単位数	1	授業方法	講義	卒業要件	必修

<授業の概要>

卒業後の人生を実りあるものにするためには、きちんとしたキャリアプランを立て、早期から準備に取り組む必要がある。本科目では、前期は進路別の就職活動の基本的スケジュールを理解するとともに、自己理解、職業・仕事の理解を通じ自身の目指すべき方向性を明確にする。後期は、就職活動に必要なビジネスマナー、自己分析、業界研究、面接対策等について実践的に学習していく。

<授業の到達目標>

卒業後の進路を選択し、選択した進路に進むために必要な資質や考え方、能力を獲得する。

<授業の方法>

講義と演習を組み合わせる。業界・企業研究に関連する授業回で、グループワークを行う。面接対策に関連する授業回で、プレゼンテーションに類するものを行う。提出物はGoogle Classroomを用いて提出する。

<成績評価方法> ※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

参加態度・学習意欲30%、講義内での課題 60%、最終レポート10%。課題に対するフィードバックは講義内で、最終レポートについてはUNIVERSAL PASSPORTで行う。

<教科書>

特に指定しない

<参考書>

久保田学（2018）

「留学生のための就職内定ワークブック」

日本能率協会マネジメントセンター

グエン・テュアン・ズオン（2018）

「ベトナム人が日本企業に就職するための心得」

日本ベンチャー大学パブリッシング

<授業計画>

回	テーマ	授業内容
1	多様な選択肢を知る	日本就職、母国就職、進学などの選択肢の概観
2	日本で就職すること (1)	日本の採用文化、就活スケジュール
3	日本で就職すること (2)	留学生に対する企業側の期待と不安
4	キャリアを考える (1)	内的キャリアと外的キャリア
5	キャリアを考える (2)	キャリア・アンカー
6	自分がどういう人かを考える (1)	人生曲線、自分史
7	自分がどういう人かを考える (2)	コンピテンシー
8	自分がどうしたいかを考える (1)	未来史
9	自分がどうしたいかを考える (2)	日本との関係 (つながり)
10	インターンシップ	日本のインターンシップの特徴、参加する意義、参加方法
11	業界を知る (1)	業界研究の視点、基本的な方法
12	業界を知る (2)	業界研究の実践
13	企業を知る (1)	企業研究の視点、基本的な方法
14	企業を知る (2)	企業研究の実践
15	筆記試験の重要性	適性検査、一般常識試験、論作文

科目コード	14003	区分	教養			実務経験のある教員等による授業科目			
授業科目名	キャリアデザインII [企業]	担当者名	佐藤 典子/齊藤 慎弥/濱嶋 幸司/小崎 遼介/浦 佑大			○			
配当年次	3	配当学期	後期	単位数	1	授業方法	講義	卒業要件	必須

<授業の概要>

「折れない、やめないIPU生」の育成をしつつ、就職支援も強力に推し進めるために、キャリアデザインIIでは働くことの意義や大学での学びが社会にどう関連するか考える。

<授業の到達目標>

業界分析や職種研究によって、将来の自分のキャリアを強くイメージできるようになる。また大学での学びが社会でどのように役に立つか自分の言葉で話せるようになる。

<授業の方法>

講義やグループディスカッションなど。2つの教室に分けてAとBの45分授業を2回実施する。

<成績評価方法>※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

参加意欲・態度60% 提出物40% 提出物へのフィードバックについてはグーグルクラスルームを活用する。

<教科書>

特に指定しない

<参考書>

特に指定しない

<授業計画>

回	テーマ	授業内容
1	A. 初回ガイダンス ¥nB. 自分を知る(自己分析)	キャリアデザインIIとなるので、改めて初回ガイダンスで授業のルールや心構えについてキャリアセンター職員からアドバイスを提供する。また自己分析でさらに自己理解を深める。
2	A. ビジネスマナー、身だしなみ講座 B. スタートアップセミナー	3月1日の就活解禁までのスケジュールを把握し、どのようなスキルをいつまでに身に付けないといけないかについて知見を得る。ビジネスマナーも習得する。
3	A. インターンシップ報告会 B. 就活エージェントと上手に付き合う	現役3年生がインターンシップの成果を報告する。またエージェントをどのように就活に活用するかを学ぶ。
4	A. OB・OGから学ぶ～転職する時に必要な力 B. 企業研究の方法	卒業生に登壇してもらい、講話を聴く。また企業研究の効果的なやり方を理解する。
5	A. 履歴書を書いてみよう ¥nB. 自己PRの書き方	書類選考を通過する履歴書とはどのようなものか。他者と差別化できる志望動機はどのようにして書くのかについて理解を十分に深めてもらい、異なる業界、職種へのエントリーに際しても学生自身がカスタマイズできるレベルにまでスキルが上がることを目指す。
6	A. OB・OGから学ぶ¥nB. ガクチカの書き方(実践)	理解しているようで理解できていないベンチャー企業や大手企業について、そこで働く先輩達からリアルな体験を聞く。学生のうちに力を入れたことをどう効果的に書くかを演習する。
7	A. 一般常識・時事問題を知るB. 給与明細の見方、社会保険税金の考え方	時事問題についての関心を高める。また社会人にとって重要項目である「お金」「保険」「税金」にまつわる知識を身に付ける。
8	A. 学生の意向、志向から今の就活を読み解くB. 社会人の先輩から学ぶ大切なこと	履修学生の就活動向をアンケートでリアルタイムで集計し公表、学生の意欲を高める。また担当教員のキャリア形成のストーリーを知ることで長期的なビジョンを持つ。
9	ゲストスピーカーによる講話	社会で活躍する外部講師を呼び学生の視野を広げる。
10	A. 企業研究① B. 企業研究②	各企業で活躍するビジネスパーソンから学ぶ。
11	A. 学長講話¥nB. 志望動機の書き方	大橋節子学長より「社会に出るにあたって」また「企業就職」について講話頂き、人生において大切なことを学ぶ。
12	A. 人生設計をしよう B. 企業研究おさらい+自己PRブラッシュアップ	長期的な人生設計を学生のうちから試みる。また企業研究や自己PRを更に進める。
13	A. 海外志向を持つ¥nB. 外資系企業で働く	青年海外協力隊の体験を聞き、グローバルな視野を持つ。また本学からは就職実績がまだ少ない外資系企業で働くことについて理解を深める。
14	A. 就活直前モチベーションアップ講座 B. 学内合同企業研究会参加企業の説明	就活を目前に控え、各自のモチベーションを上げる。合同企業研究会に参加して成果を上げるコツを習得する。
15	A. 合同企業説明会の周り方、就活パスツアーについて B. 4年生になっても覚えておくこと	キャリアデザインIIの最終回にあたり、4年生になって覚えておくべき大学での手続きについて学ぶ。あと1か月に迫った解禁日を前に事務的連絡なども含む。

科目コード	14003	区分	教養科目			実務経験のある教員等による授業科目			
授業科目名	キャリアデザインⅡ [教職]	担当者名	千葉 照久/大崎 卓己/濱嶋 幸司/坂根 清貴/奥山 優/安井 正郎/練苧 千之/前田 一誠/岩田 清隆/延原 まどか			○			
配当年次	3	配当学期	後期	単位数	1	授業方法	講義	卒業要件	必修

<授業の概要>

このキャリアデザインは、子ども発達学科、教育経営学科、体育学科に在籍している教員を希望する学生対象である。このクラスでは、教員を選択し、働くことの意義や自己理解を深める中で、教員になるために必要な資質や能力を養い、将来の生き方について考えさせるとともに、教員採用試験合格を目指して、より実践的な取組について指導を行う。学習成果については、論理的思考力、表現力、協働性、教職への熱意などについて評価する。

<授業の到達目標>

1 教員を選択した意思を明確にし、その職に進むために必要な資質や能力を高めることができる。¥n 2 自己理解を深め、将来の生き方について考えることができる。¥n 3 教員採用試験合格を目指して、必要な取組を理解し、日常の実践に生かすことができる。

<授業の方法>

- ・ 講話を通して、課題の提示や説明
- ・ 課題についてのグループディスカッション¥n
- ・ 課題についての演習
- ・ レポートの提出

<成績評価方法>※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

- ・ 学習意欲 20%
- ・ 受講態度 20%
- ・ 講義内での課題等 20%
- ・ 最終レポート 40%

<教科書>

特に指定しない

<参考書>

特に指定しない

<授業計画>

回	テーマ	授業内容
1	教員採用試験合格への取組キャリアデザインの後期の予定 個別面談・学習進行表	合格に向けての心構え～これからの努力¥n *対策講座について¥n *個別面談・学習進行表について
2	教師に求められる資質や能力③「保護者対応」	保護者に対応するために必要な心構えと力¥n *講話・グループディスカッション
3	教育課題への対応① 「時事問題への対応」～情報モラル教育～	情報モラル教育の理解とその対応¥n *講話・グループディスカッション
4	出前講座「学校現場が必要としている教員像～授業づくり～」	主体的・対話的で深い学びの実現¥n ・広島県教委「ワークショップ」
5	教育課題への対応②「人権尊重の教育」～いじめ・児童虐待・LGBT～	人権尊重の教育の基本的な考え方と取り組み¥n *講話・グループディスカッション
6	合格の秘訣を探る①「教採合格者の体験」	教員採用試験合格者の体験発表¥n *「私はこうして合格した」
7	合格の秘訣を探る②「個人面接・場面指導」	教採における個人・集団面接の概要と留意点¥n *先輩の個人面接・場面指導
8	合格の秘訣を探る③「模擬授業」	教採における模擬授業の概要と留意点¥n *先輩の模擬授業
9	合格の秘訣を探る④ 「集団面接・集団討論」	教採における集団討論等の概要と留意点¥n *先輩の集団面接・集団討論
10	教育課題への対応③ 「令和の日本型教育について」～個別最適な学び、協働的な学びの実現～	個別最適な学び、協働的な学びの実現に向けた取り組み¥n *講話・グループディスカッション
11	講話①「生徒指導への対応」	生徒指導についての基本的な考え方と実践事例¥n *中学校長の講話
12	講話②「学級集団の育て方」	学級集団づくりについての基本的な考え方と実践事例¥n *小学校長の講話
13	教育課題への対応④「家庭・地域・専門機関との連携」～チーム学校～	チーム学校の体制づくりの必要性¥n *講話・グループディスカッション
14	教育課題への対応⑤「学校安全」	学校安全の取り組みの必要性¥n *講話・グループディスカッション
15	教採に向けた取組の成果と課題	教員採用試験に向けた取組の振り返り¥n 来年度に向けての方策¥n 春季休業期間の学習 ¥n レポート試験

科目コード	14003		区分	教養科目			実務経験のある教員等による授業科目		
授業科目名	キャリアデザインⅡ [公務員]		担当者名	森 利治/大井 理緒			○		
配当年次	3	配当学期	後期	単位数	1	授業方法	講義	卒業要件	必修

<授業の概要>

このキャリアデザインⅡ（公務員）は体育学科、教育経営学科、こども発達学科、現代経営学科に在籍している公務員就職を希望する学生対象の講義である。このクラスでは公務員就職を希望し、公僕として働くことの意義を実際に各種公務員として働くためにどんな職種の公務員があるのか、それはどのような業務をするのかを知ることとなりたい職種を前期で絞ったうえで、警察官、消防士、自衛官、市役所、県庁職員など実際現場で活躍されている方などをお招きして実際の業務を生講義していただき、学生が調べてきたことと実際との相違を学び、4年生から始まる本試験に向けて仕事の意味を理解した上で試験に臨んでいくことを目的とする。

<授業の到達目標>

1. 公務員採用試験に合格するために、キャリアデザインⅠで取り組んだ自己分析をもとに集団面接形式での実践演習を行い、実際の面接試験に向けての動機付けになるようにする。
2. 各職種で活躍されている外部講師の方からの講話、合格を勝ち取った先輩方の体験談を聴いて、自分の進みたい道に対する覚悟を決め受験に対するモチベーションを高める。

<授業の方法>

講義、講演会、論文対策、模擬面接などの形式で実施する。

<成績評価方法>※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

期末試験70%、単元別レポート15%、授業に取り組む姿勢15%

<教科書>

特に指定しない

<参考書>

特に指定しない

<授業計画>

回	テーマ	授業内容
1	後期の目標を設定する	志望先を考える。勉強と部活動、アルバイトなどのバランスについてスケジュールを立てる。
2	実践演習（1）	面接試験について（集団面接①）
3	講話「現場が求める人材」（1）	消防士の仕事内容（1）
4	実践演習（2）	面接試験について（集団面接②）
5	講話「現場が求める人材」（2）	地方の警察官の仕事内容について
6	合格の秘訣を探る（1）	公務員試験合格者の体験談（1）
7	実践演習（3）	面接試験について（集団面接③）
8	講話「現場が求める人材」（3）	刑務官の仕事内容について
9	合格の秘訣を探る（2）	公務員試験合格者の体験談（2）
10	講話「現場が求める人材」（4）	県職員の仕事内容について
11	合格の秘訣を探る（3）	公務員試験合格者の体験談（3）
12	講話「現場が求める人材」（5）	自衛官の仕事内容について
13	講話「学長講話」	本試験まであと三か月、追い込み時期を乗り切るために学長先生から学生にメッセージをいただく。
14	講話「現場が求める人材」（6）	市職員の仕事内容について
15	講話「現場が求める人材」（7）	消防士の仕事内容について（2）

科目コード	14003		区 分	教養科目			実務経験のある教員等による授業科目		
授業科目名	キャリアデザインⅡ [健康科 学科用]		担当者名	宮本 彩			○		
配当年次	3	配当学期	後期	単位数	1	授業方法	講義	卒業要件	必修

<授業の概要>

卒業後の進路を実りあるものにするためには、計画的にキャリアプランを立て、早期から準備に取り組む必要がある。進路別就職活動のスケジュールを理解するとともに、実際の現場で求められている柔道整復師のスキルやモラルを理解し、身に付けることを学修成果として求めます。

<授業の到達目標>

柔道整復師に求められる職業倫理及び、社会保障制度について学び、柔道整復師の役割を理解し、自身の目指すべき方向性を明確にする。柔道整復師の職務と誇りを育むとともに、ビジネスマナー、自己分析力、業界に対する知識を身に付ける。

<授業の方法>

必要に応じて、ゲストスピーカーをお招きして講義を進める（オンライン形式も含む）。資料の配布等はGoogle Classroomを活用する。

<成績評価方法>※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

授業意欲・態度：20%授業中の意見交換：30%授業課題・レポート提出：50%

<教科書>

なし

<参考書>

なし

<授業計画>

回	テーマ	授 業 内 容
1	キャリアプランの設計①	前期授業および夏季休暇の省察就職活動に向けたキャリアプランの設計
2	職業倫理及び関係法規①	健康保険制度の概要および不正請求について
3	職業倫理及び関係法規②	業務におけるリスクマネジメント
4	社会保障制度①	関連企業講話「社会保障費から読み解く本邦の社会保障制度」
5	社会保険制度②	関連企業講話「少子高齢化が進む日本で接骨院が果たすべき役割」
6	社会保障制度③	関連企業講話「老齢年金を始めとした各種年金制度の概要」
7	社会保障制度④	関連企業講話「障がい者への福祉サービスを始めとした社会福祉」
8	社会保障制度⑤	企業関連講話⑤「公的扶助（生活保護）制度」
9	グループ討議①	競技スポーツ分野で柔道整復師が活躍する方策を考える
10	グループ討議②	医療分野で柔道整復師が活躍する方策を考える
11	グループ討議③	介護・福祉分野で柔道整復師が活躍する方策を考える
12	就職セミナー①	企業数社が集まる就職セミナーに参加し、興味のある企業の説明を聞く。
13	就職セミナー②	企業数社が集まる就職セミナーに参加し、興味のある企業の方と面談する。
14	キャリアプランの設計②	春季休暇ならびに来年度の就職活動に向けたプランを設計する
15	キャリアプランの設計③	自分自身のキャリアプランを他者と共有する

科目コード	14003		区分	教養科目			実務経験のある教員等による授業科目		
授業科目名	キャリアデザインⅡ [留学生用]		担当者名	大平 真紀子			○		
配当年次	3	配当学期	後期	単位数	1	授業方法	講義	卒業要件	必修

<授業の概要>

卒業後の人生を実りあるものにするためには、きちんとしたキャリアプランを立て、早期から準備に取り組む必要がある。本科目では、前期は進路別の就職活動の基本的スケジュールを理解するとともに、自己理解、職業・仕事の理解を通じ自身の目指すべき方向性を明確にする。後期は、就職活動に必要なビジネスマナー、自己分析、業界研究、面接対策等について実践的に学習していく。

<授業の到達目標>

卒業後の進路を選択し、選択した進路に進むために必要な資質や考え方、能力を獲得する。

<授業の方法>

講義と演習を組み合わせて実施する。業界・企業研究に関連する授業回で、グループワークを行う。面接対策に関連する授業回で、プレゼンテーションに類するものを行う。

<成績評価方法>※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

参加態度・学習意欲30%、講義内での課題 60%、最終レポート10%。¥n課題に対するフィードバックは講義内で、最終レポートについてはUNIVERSAL PASSPORTで行う。

<教科書>

特に指定しない

<参考書>

久保田学（2018）

「留学生のための就職内定ワークブック」

日本能率協会マネジメントセンター

グエン・テュアン・ズオン（2018）

「ベトナム人が日本企業に就職するための心得」

日本ベンチャー大学パブリッシング

<授業計画>

回	テーマ	授業内容
1	前期振り返り	前期の振り返りと後期の授業概要¥nインターンシップや業界・企業研究などの成果の共有
2	就職活動におけるマナー（1）	基本的な身だしなみ
3	就職活動におけるマナー（2）	敬語、電話・メールの日本語表現
4	インターネットを活用した就職活動の展開	就活サイトの活用法、各種データベースの利用方法
5	企業を知る（3）	個別企業の事例に基づく企業理解（外部講師予定）
6	業界・企業を選ぶ	業界・企業選びの方向性
7	履歴書とエントリーシート	書類提出の意味、基本的な書き方・注意点
8	日本の税制と福利厚生	給与と福利厚生、所得税
9	自己分析	自分の「これまで」と「これから」を改めて見つめ直す
10	自分のことを他人に伝える	自己PRのための日本語表現
11	面接対策（1）	基本的な手順、よく聞かれる質問
12	面接対策（2）	面接のロールプレイング [基本編]
13	面接対策（3）	面接のロールプレイング [応用編]
14	在留資格について	「特定活動」資格の説明
15	まとめ	全体の総括と補足説明

科目コード	14001		区分	教養科目			実務経験のある教員等による授業科目		
授業科目名	キャリアサポート [企業]		担当者名	佐藤 典子			○		
配当年次	4	配当学期	前期	単位数	2	授業方法	講義	卒業要件	選択

<授業の概要>

本授業は就職活動と就職後に必要となる社会人基礎力の中から自己管理能力や対人スキルについての意識付けをして、それらのスキルを高めることを目的とする。特にコミュニケーション能力を伸ばすためにコーチングのスキルの実習をして、傾聴力や質問力を高める。

<授業の到達目標>

ピアコーチングをすることで自己分析や自己発見につなげ、傾聴や質問のスキルを伸ばすことでコミュニケーション能力を上げる。当初にこれらのコンピテンシーを自己・他者採点し、前期終了時にも同様な採点をして到達度を可視化する。

<授業の方法>

講義、ディスカッション、コーチング・デモンストレーションの観察、コーチング実践ワーク、3人一組でのオブザーバーを入れた実践ワーク、グループ演習など。

<成績評価方法>※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

受講態度と意欲 60%、課題の提出20%、最終的なスキルの進捗度合い20%とする。フィードバックについては、グーグルクラスルーム上で教員がコメントを記入して各自に返却する。また、スキルの習熟度のフィードバックについては、授業で演習中に直接フィードバックを実施する。

<教科書>

CTIジャパン

マンガでやさしくわかるコーチング

日本能率協会マネジメントセンター

<参考書>

CTIジャパン

コーチングバイブル

東洋経済新報社

<授業計画>

回	テーマ	授業内容
1	オリエンテーション	授業概要、評価方法、チーム作りのための演習
2	コーチングとは	コーチングの特性理解、事前アセスメントの実施
3	コーチング基礎スキル	傾聴の効果を理解して演習をする。
4	コーチングの基礎スキルとパーソナルスタイル分析	多様なパーソナリティについての理解を深め、コーチングに関連付ける
5	コーチングの基礎スキル	傾聴と効果的な質問などの基礎スキルを演習を通して体得する
6	コーチングの基礎スキル	質問とGROWモデルの演習
7	外部講師によるコーチング特別授業	演習を通じて自己肯定感を高める
8	履修学生からのフィードバックを今後の授業に活かす	講義と演習
9	ビジネスにおけるコーチング	外部講師との座談会もしくはオンデマンド授業で課題提出をする
10	コーチング実践	基礎スキルやモデルの習得
11	ポジティブコーチング	外部講師を招聘してポジティブ心理学をベースにしたコーチングを学ぶ
12	コーチング技術の診断（1）	習熟度の診断とフィードバック
13	コーチング技術の診断（2）	習熟度の診断とフィードバック
14	事後アセスメント	コーチングスキルの身に付き方、習熟度を可視化する
15	まとめ	習熟度の診断と総括

科目コード	14001	区分	教養科目			実務経験のある教員等による授業科目			
授業科目名	キャリアサポート [教職]	担当者名	千葉 照久/坂根 清貴/奥山 優/安井 正郎/練苧 千之/大崎 卓己/延原 まどか/林 栄昭/岩田 清隆/中野 隆重			○			
配当年次	4	配当学期	前期	単位数	2	授業方法	講義	卒業要件	選択

<授業の概要>

この授業の目的は、キャリアデザイン等で学んだ教師としての基礎知識をもとに、教員採用試験合格に向け、より実践的な資質・能力を身につけることである。その目的を達成するために、教員採用試験に向けた心構えや具体的な攻略法について講義・演習を中心に、より実践に即した形で指導する。学習成果については、論理的思考力、表現力、協働性、教職への熱意などについて評価する。

<授業の到達目標>

・教師としての基礎知識や学校現場の課題を理解することができる。Yn・教員採用試験の傾向と対策を理解し、志望する自治体に応じた面接、論作文、模擬授業等の実践力を高めることができる。Yn・教師のやりがい、心構え等を理解し、自らの理想とする教師像を明確にすることができる。

<授業の方法>

- ・講話を通して、課題の提示や説明
- ・課題についてのグループ協議Yn・課題についての演習
- ・レポートの提出

<成績評価方法>※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

学習意欲 20% 受講態度 20% 講義内での課題等 20% 最終レポート 40%

<教科書>

特に指定しない

<参考書>

特に指定しない

<授業計画>

回	テーマ	授業内容
1	キャリアサポートとはYn学習のルール・予定	キャリアサポートの概要と試験までの過ごし方 Yn立ち振る舞い 服装とあいさつ Yn学習進行表の活用 Yn対策講座等の予定（ノートの活用）
2	教員採用試験の事務手続き	募集要項の取り寄せ方 Yn提出書類の記入方法 Yn願書、履歴書の記入内容の確認
3	自己アピールの仕方Yn学習進行表	自己アピールの仕方 Ynグループで自己アピール演習Yn学習進行表を基にした情報交換
4	個人・集団面接の攻略法	個人・集団面接の回答の仕方Yn自分の考えをわかりやすく伝える手立て
5	集団討論等の攻略法	集団討論・グループ活動の実施形態Yn複数の受験者との討論の進め方Yn課されるテーマの過去問の分析
6	教育現場の課題1「主体的・対話的で深い学び」	グループに分かれて集団討論 Yn
7	教育現場の課題2「インクルーシブ教育」	グループに分かれて集団討論
8	学長講話	進路に向けてのメッセージ
9	受験に際しての心構えYn個人面接の攻略法	一次試験（二次試験）に臨む心構えYn聞き手を意識した回答の仕方YnIPUに関する質問への回答の仕方
10	教育現場の課題3「ICT教育への取組」	グループに分かれて集団討論
11	模擬授業の攻略法	模擬授業の概要 先輩の模擬授業（VTR視聴） Yn学習指導案の書き方と模擬授業の実際
12	実践に即した面接演習（1）	夏期対策講座についてYn面接の評価の観点を意識した面接の仕方Yn上手な展開の仕方
13	実践に即した場面指導演習	場面指導の実際Yn現場に起こりうる場面での対処法
14	実践に即した面接演習（2）	授業に関する面接対策を中心に
15	レポート	900字 60分Yn課題「学んだことをどのように教職に役立てるか」

科目コード	14001		区分	教養科目			実務経験のある教員等による授業科目		
授業科目名	キャリアサポート [公務員]		担当者名	横内 浩平			○		
配当年次	4	配当学期	前期	単位数	2	授業方法	講義	卒業要件	選択

<授業の概要>

公務員を目指す学生がキャリア（職業人生）を考えていくには、さまざまな出題科目について十分理解しておく必要がある。この講義では、今年度の公務員試験に必要な知識のうち、次の内容を身に付けることを目的とする。1. 直前期に必要な「問題演習」2. 二次試験対策のうち主に「集団討論」「集団面接」

<授業の到達目標>

1. 公務員への理解を深め、公務員として働くことの意義を認識することができるようになる。2. 採用試験における「頻出分野」の理解ができるようになる。3. 今年度の公務員試験に必要な知識を養成し、採用に向けての準備を怠らない習慣を身に付けている。

<授業の方法>

1. 講義（配布プリントを使用し授業、問題演習を進める）2. 振り返り（授業の内容に関するまとめ）※授業の一部についてはインターネット上のサイトを活用して解説します。

<成績評価方法>※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

定期試験の結果 50%、確認テスト35%、授業態度 15%

<教科書>

特に指定なし

<参考書>

特に指定しない

<授業計画>

回	テーマ	授業内容
1	履修ガイダンス	講義の進め方について説明する。
2	問題演習 (1)	政治
3	問題演習 (2)	経済
4	問題演習 (3)	日本史
5	問題演習 (4)	世界史
6	問題演習 (5)	地理
7	問題演習 (6)	生物・地学
8	二次試験対策 (1)	集団討論・集団面接等 (1)
9	二次試験対策 (2)	集団討論・集団面接等 (2)
10	二次試験対策 (3)	集団討論・集団面接等 (3)
11	二次試験対策 (4)	集団討論・集団面接等 (4)
12	二次試験対策 (5)	集団討論・集団面接等 (5)
13	二次試験対策 (6)	集団討論・集団面接等 (6)
14	二次試験対策 (7)	集団討論・集団面接等 (7)
15	まとめ	重要事項の確認・試験の注意など

科目コード	14001	区分	教養			実務経験のある教員等による授業科目			
授業科目名	キャリアサポート [健康科学 科用]	担当者名	河野 儀久			○			
配当年次	4	配当学期	前期	単位数	2	授業方法	講義	卒業要件	選択

<授業の概要>

このクラスは健康科学科に在籍する学生が対象である。接骨院、整形外科クリニックをはじめとした医療機関、フィットネスクラブ、介護事業所などへの就職を目指す学生の就職活動における指導を実施する。

<授業の到達目標>

日本で就職を希望する留学生にエントリーシート記入の方法、面接対策、採用試験対策についてのサポートと指導をおこない、学生の希望に応じた企業・団体への内定を獲得できることを目標とする。また出身国に戻り就職を希望する留学生に対しては、より多くの情報を集め学生と個別に相談しながら、希望に沿った企業や団体への就職獲得を目指す。

<授業の方法>

講義、グループワーク、演習、面談の形で実施する。

<成績評価方法>※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

講義内の討論参加度合 30%、講義内での課題遂行度合 30%、最終レポート 40%

<教科書>

特に指定しない

<参考書>

特に指定しない

<授業計画>

回	テーマ	授業内容
1	オリエンテーション	授業の目的とその概要について
2	自己分析	就職先となる医療・福祉業界の特徴を知る。
3	就職するには(1)	自分のアピール方法を知る
4	就職するには(2)	就職活動の流れと準備
5	就職するには(3)	企業・業界を知る
6	就職するには(4)	情報収集の方法
7	就職するには(5)	希望企業・業界の決定
8	就職活動サポート(1)	エントリーシートの書き方・履歴書の書き方(1)
9	就職活動サポート(2)	エントリーシートの書き方・履歴書の書き方(2)
10	就職活動サポート(3)	筆記試験・適性検査対策(1)
11	就職活動サポート(4)	筆記試験・適性検査対策(2)
12	就職活動サポート(5)	個人面接・集団面接対策
13	就職活動サポート(6)	個人面接・集団面接練習(1)
14	就職活動サポート(7)	個人面接・集団面接練習(2)
15	まとめ	就職活動を振り返って

科目コード	14001		区 分	教養科目			実務経験のある教員等による授業科目		
授業科目名	キャリアサポート [留学生用]		担当者名	大平 真紀子			○		
配当年次	4	配当学期	前期	単位数	2	授業方法	講義	卒業要件	選択

<授業の概要>

本科目では、キャリアデザインで取り組んだ内容をもとに、日本の会社で働くために必要な資質、知識やマナーをさらに向上させることを目指す。日本で就労するためには日本人の考え方、国との働き方の違い、法規に関する問題などを知り、日本社会の中で共生していく必要がある。そのための知識の養成や心構えについて学ぶ。

<授業の到達目標>

卒業後の進路を選択し、選択した進路に進むために必要な資質や考え方、能力を獲得する。 ※留学生が卒業後に「特定活動」の在留資格を得るためには、本科目の単位を修得する必要があるので留意すること。

<授業の方法>

講義と演習を組み合わせて実施する。面接対策に関連する授業回で、プレゼンテーションに類するものを行う。提出物はGoogle Classroomを用いて提出することもある。

<成績評価方法>※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

参加態度・学習意欲30%、講義内での課題 60%、最終レポート10%。課題に対するフィードバックは講義内で、最終レポートについてはUNIVERSAL PASSPORTで行う。

<教科書>

特に指定しない

<参考書>

特に指定しない

<授業計画>

回	テーマ	授 業 内 容
1	オリエンテーション	授業概要と評価方法に関する説明
2	就職活動の中間報告	各自の就職活動の「これまで」と「これから」
3	キャリアについて考える	内的キャリアと外的キャリア、キャリア・アンカー
4	自己分析 (1)	人生曲線、自分史
5	自己分析 (2)	自己PRのための日本語表現
6	業界・企業研究 (1)	業界・企業を捉える多様な視点、情報収集の方法
7	業界・企業研究 (2)	選択肢を広げるための業界・企業研究
8	自己分析 (3)	業界・企業選択に向けた価値観の模索
9	業界・企業研究 (3)	価値観にもとづく業界・企業選択
10	書類の作成	読み手に伝わる日本語表現とは
11	就職活動におけるマナー	身だしなみ、電話・メール・対面での日本語表現
12	面接対策 (1)	基本的な手順、聞かれる質問
13	面接対策 (2)	個人面接のロールプレイング
14	面接対策 (3)	集団面接のロールプレイング
15	まとめ	就職活動の総括とこれからの学びに向けて